

予選で勝ち神奈川代表で四国の国体に出場したとき、同じく浦和西高に勝ち全国大会に出場を果たした喜びなどがくるくる回ってくる。キャプテンになって一年有余、時には悔しさに涙し、苦しくて眩撃がし、時には大きな大会の出場権を得て仲間と共に嬉し泣きしたこと等々、それで良かったと思う。俺はサッカーに出会ってから3年間、サッカーにどっぷりつかって本当に幸せな男だと思う。

国体の思い出

大庭良寛

県予選4回を勝抜き、初めて神奈川県代表として第8回国民体育大会(四国4県で開催)に参加することが出来て、大変な喜びでした。当時住んでいた国府津町役場から、国体参加選手として金額は忘れたが小遣いの支給を受けた事、又、出発当日は小田原駅より他県の選手も一緒に国体選手専用の背もたれが木製で出来た3等車に乗り込み、20時間位かかり、大変苦勞して松山まで直行した思い出があります。

試合は1回戦で富山県代表の富山高に1-1で抽選勝ちし、2回戦で優勝した広島県代表修道高校に0-3で敗退しましたが、専用列車の都合もあり、お陰様で松山市の果林公園の見学と琴平町の金比羅官を参拝することも出来た4泊5日の大変楽しかった大会参加でした。

思い出の試合

原田 宏

浦和西高との決勝戦

1対1のまま延長、風上の10分間点が入らず、風下になったのでこの10分間を守ろうと考えて、ハーフラインまで下がっていたら味方LHが前にボールを蹴りだした。そのボールを、相手FBがキーパーにバックパスをしたのです。そのパスが弱かったので、私とFBの競争となり私の足がチョット速くキーパーに達する前にシュートを決め2対1と

なり全国大会の切符を手にししました。実力的には相手の方が上だったと思います。風の強い日でした。

全国大会

1対1で前半が終わり、後半にはいるとすぐに田中がライン沿いに持ち込みセンターリング。中央よりインサイドキックにてシュート。見事にネットに突き刺さり得点したのですが、無情にもオフサイド。その後すぐ関西高に決勝点を奪われ負けてしまいました。その後チャンスはあったが得点できず、1回戦で敗退した。実力は当方が上であったと思うが悔しい敗戦であった。

敗戦の思い出

足立久一

ヨゼフ学園戦

私の古い写真帳に薄黄色に変色した一葉の記念写真が貼ってあります。台紙に“昭和27年5月5日対聖ヨゼフ学園1対7敗”とあります。そこには坊主頭の私が懐かしいチームメートと共に47年前の顔で大きな外国人選手に混じって並んでいます。2年生になって1月後の練習試合後のもの、場所は母校のグラウンドです。

当時の小田高蹴球部は県内では無敵の存在。私の入学前の昭和25年は、全国高校選手権大会で準優勝、1年の時の昭和26年は、県高校選手権優勝と神奈川県高校サッカーの項点に君臨して居ました。

勿論補欠の私ではありましたが負け試合の経験は少なかったはずです。新チームになって初めての大会です。それも神奈川県内の高校チームにです。試合中ずっとその力の差にどう仕様もない焦燥感でボールを追っていたこと、又長い長い試合時間であったことを、この写真を見る度毎に思い出させます。

栄光学園戦

結局27年度は県高校選手権、同リーグ戦、全国高校選手権県予選共に優勝できたのですがもう一つ敗戦の思い出としては、当時横須賀、今は鎌倉に移転している栄光学園との

練習試合です。この学校は当時高校蹴球協会に加入していなかったんじゃないですか。対戦したことはありませんでした。それにアッサリ負けてしまったんです。神奈川県の高校のチャンピオンと言っても井の中の蛙だったんですね。こんな強いチームが県内にいたことに驚きました。只神奈川県レベルは決して高くないことは充分知っていました。練習試合などで対戦した埼玉の浦和、山梨の韮崎、静岡の藤枝に勝った記憶はありませんから…。